

新生活応援!



流山おおたかの森高等学校 校長 中村 淳一

本校の校訓は「夢・情熱・挑戦」です。小学生時代・中学生時代の夢と挑戦が高校生へと繋がっていくように、小・中・地域との連携を一層深めていきたいと思ひます。

流山市立西初石中学校 校長 大島 小百合



今年度着任いたしました大島小百合です。8年前まで西初石中に勤務してましたので、とても懐かしい思いと嬉しさでいっぱいです。学校教育目標の「感謝・自立・貢献」の実現に向けて、教職員一丸となって生徒たちの成長のために取り組んでまいります。学校活動の様子は学校ホームページで毎日紹介していますので、ぜひご覧ください。今年度もよろしくお願ひいたします。

流山市立西初石小学校 校長

校章と校歌は、学校がどのような学校であってほしいのか、どのような子供を育てるのか、どのような教育を重視するのかなど、学校教育の原点が凝縮された象徴のようなものだと思います。西初石小は、今年で47周年を迎えます。長く受け継がれてきた本校の校章と校歌について調べてみました。

本校の校歌は、開校時の教頭（作詞）と音楽担当教員（作曲）によって作られたものなのです。子供のこと、学校のこと、地域のことを一番よく知っている方々の思いのこもった校歌であることに、感動しました。

新川小と八木北小の分離校として、児童数678名（18学級）・教職員29名でスタートした西初石小。開港当時の全校一体となつての学校づくりのようすが目に浮かびます。今後、折に触れ、校章や校歌にかかわる話をして、それらの意味や意義と日頃の学校生活を関連付け、先人の思いを受け継いでいきたいと思ひます。



校章には、どんな意味があるのかな？

1. 本校の西と初の二文字を組み合わせ、校舎が高台にあるようす
2. 子どもと先生と一緒によりよい西初石小をつくってほしいという願ひ

緑と水にめぐまれた
ふるさと西初石
校章には、約50年前に西初石小をつくつた人々の思いがこめられています。



小学校の「小」の形 ↑ 江戸川の流を表現している

みんなでつくる
西初石!!
どんな事ができるか...
まず自分にできること
1つはじめてみ
ませんか?

